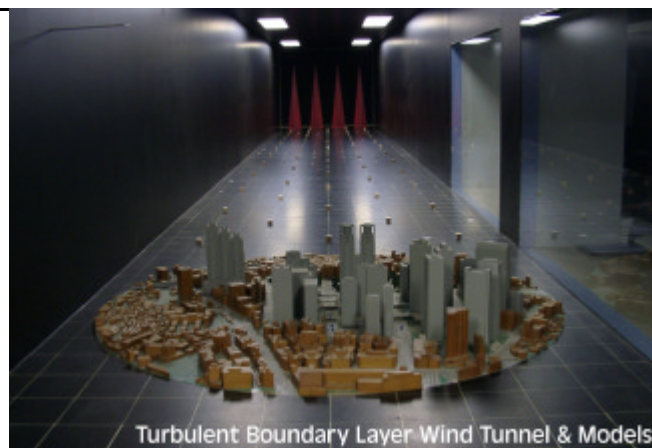


【分野名：機械、土木、建築、その他工学】

大 学 名	東京工芸大学
拠点のプログラム名称	都市・建築物へのウインド・イフェクト
中核となる専攻等名	工学研究科建築学専攻
拠点リーダー氏名	田村 幸雄

本拠点は「風工学研究センター」を中核として形成され、世界の自然災害による経済的損失の85%を占める都市や建築物の強風災害から、通風・換気の問題、汚染物拡散など、気流と都市・建築物に関わるウインドイフェクトについての研究・教育を行う。耐風構造分野では、設計風速の評価、経済的で合理的な耐風設計法の提案、強風時の風応答モニタリングや都市建物群に対する防災システムの構築などについて検討する。通風換気分野では、民生用空調エネルギー消費量の削減を目的とした自然通風エネルギーの高度利用のための通風設計法の研究開発や、環境負荷の少ないサステナブル社会の実現に向けた研究を推進する。風環境・空気汚染分野では、シックハウス等の問題や人体周りの空気環境問題、あるいは建物近傍での汚染物排出問題から地域熱供給プラントから市街地に排出される汚染ガス問題など都市域にわたる空気汚染問題等を取り扱う。これら都市・建築物と風との間に生ずる問題の解決を図り、



自然と安全に共生できる長寿命、循環型の都市・建築物の実現のための一翼を担う。海外に眼を向けると、台風等による人的物的被害が多発し、空気汚染問題も深刻な発展途上国の多いアジア地域での本拠点の重要性は極めて高い。強風災害の低減や環境保全問題の解決に寄与するとともに、世界的水準の研究機関との共同研究の推進、「APEC諸国強風防災センター」の設置や、「APEC風研究者ネットワーク」の構築等を通じて、風工学の教育普及活動と国際的情報発信が積極的に展開される。